

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 20 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿



提出者

住 所 茨城県ひたちなか市東大島4丁目13番11号

氏 名 有限会社よこすか建設

代表取締役 横須賀 健一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 029-272-5075

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社よこすか建設
事業場の所在地	ひたちなか市東大島4丁目13番11号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業・廃棄物処理業
② 事業の規模	元請完成工事高 587,006 千円（税抜 前年度実績）
③ 従業員数	39名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	現場毎に契約書作成→各現場より廃棄物搬出→自社又は収集運搬業者にて処理業者へ搬出→中間処理施設又は最終処分場にて処分→マニフェスト伝票により確認

（日本工業規格 A 列 4 番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	
代表取締役	
↓	
工事部長 (工事部会議)	廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理業者の選定及び管理
↓	
各作業所	委託契約書の締結 廃棄物の委託・監視 マニフェストの交付・管理
↓	
事務部	マニフェストの集計・保管・管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 混合廃棄物削減の為、手作業での分別を実施している。 出来る限り再生利用する。		
② 計画	【目標】 別紙		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も手作業での分別を徹底する。 可能な限り再生利用する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 機械で破砕した後、手作業で分別 混合廃棄物を可能な限り少なくする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も同様に混合廃棄物を減少させる。 分別方法の教育

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 異物が混入しないよう、解体作業・積込時に留意する。 手作業で異物を取り除く。		
② 計画	【目標】 別紙		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 現状取り組みの徹底		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、書面による委託契約の実施 マニフェスト管理を適正に行う		

(第5面)

② 計画	【目標】 別紙		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記事項の継続実施 分別を徹底し混合廃棄物の排出を少なくする 優良処理業者を積極的に利用する 電子マニフェストの活用		
※事務処理欄			

排出事業者 南よこすか建設
令和6年4月1日～令和7年3月31日

※赤字は優良認定処理業者

単位: t

処理業者	廃棄物	がれき類 (右欄含有)	がれき類	ガラス・陶磁器	ガラス・陶磁器 (右欄含有)	ガラス・陶磁器 蛍光灯・LED	廃プラスチック	廃プラスチック (右欄含有)	混合廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	廃石綿	汚泥	計
南よこすか建設		1688.68		38.76											1707.44
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(現状)		1688.68		38.76											1707.44
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(計画)		4000.00		30.00											4030.00
(一財)茨城県環境保全事業団			14.63	5.73											20.36
㈱フロムダブリュー				1.48			0.39								1.87
㈱園分 筑波リサイクル		1035.46													1035.46
日本道路㈱ 那珂アスコン		4.12													4.12
㈱ディー・アール・ケー			6.44												6.44
㈱オカベ		17.73													17.73
再生利用業者への処理委託量(現状)		1057.31	21.07	7.21	0.00	0.00	0.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1085.98
再生利用業者への処理委託量(計画)		1000.00	50.00	50.00	50.00	1.00	10.00	1.00	10.00	5.00	10.00	5.00			1192.00
㈱あおぞら							4.86								4.86
勝田環境㈱			29.30			0.06	22.76		14.44	1.36	227.59	6.59			302.10
㈱茨城県リサイクル協会							14.35		15.23						29.58
㈱ヤマゲン											2.85				2.85
㈱ヤマゼン 上野処分場													0.76		0.76
㈱カツタ													11.00		11.00
優良認定処理業者への処理委託量(現状)			29.30		0.00	0.06	41.97	0.00	29.67	1.36	230.44	6.59	0.76	11.00	351.15
優良認定処理業者への処理委託量(計画)				20.00			20.00		10.00	5.00	200.00	5.00			260.00
全処理委託量(現状)		1057.31	21.07	36.51	0.00	0.06	42.36	0.00	29.67	1.36	230.44	6.59	0.76	11.00	1437.13
全処理委託量(計画)		1000.00	50.00	70.00	50.00	1.00	30.00	1.00	20.00	10.00	200.00	10.00	0.00		1452.00
排出量計		2725.99	21.07	75.27	0.00	0.06	42.36	0.00	29.67	1.36	230.44	6.59	0.76	11.00	3144.57

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 前年度(令和6年度)実績

産業廃棄物の種類	がれき類 (右欄含有)	がれき類	ガラス・陶磁器	ガラス・陶磁器 (右欄含有)	ガラス・陶磁器 蛍光灯・LED	廃プラスチック	廃プラスチック (右欄含有)	混合廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	廃石綿	汚泥	総計
排出量	2725.99	21.07	75.27		0.06	42.36		29.67	1.36	230.44	6.59	0.76	11.00	3144.57

②計画

産業廃棄物の種類	がれき類 (右欄含有)	がれき類	ガラス・陶磁器	ガラス・陶磁器 (右欄含有)	ガラス・陶磁器 蛍光灯・LED	廃プラスチック	廃プラスチック (右欄含有)	混合廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	廃石綿	汚泥	総計
排出量	5000.00	50.00	100.00		1.00	30.00		20.00	10.00	200.00	10.00	0.00	0.00	5482.00